

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 321

事務事業名	長崎和牛優良肥育素牛導入事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	開 健一	内線	253

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040104	魅力ある農林水産業の振興
施策		畜産業の振興
関連施策		

会計	一般	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	4	畜産業費
事業コード	120000	長崎和牛優良肥育素牛導入事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	(和牛)肥育農家		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図 対象をどのような状態にしたいか	長崎和牛の市場における知名度向上を図るには、平成29年度に宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会で、日本一を連覇することが求められている。このため、全国和牛能力共進会出品候補牛の導入を促進し、肥育農家に蓄積された技術を活かして「大村育ち長崎和牛」で日本一を目指す。 また、出品候補牛の飼育を通じ、関係機関と一体となって飼養管理に努めることで、更なる肥育技術の向上と高品質和牛の安定供給に繋がり、今後の肥育農家の生産意欲を高めることができる。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	平成27年度に導入した出品候補牛(8頭)の肥育開始に伴い、平成28年度は肥育技術の向上と研鑽にかかる研修経費、平成29年度は全国和牛能力共進会開催時の成果研修旅費として、経費の4分の3を限度として助成する。		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 29 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 出品候補牛飼育農家	計画値			3	2	
		実績値			2		
		達成度	%		66.7%		
活動指標	② 出品候補牛導入頭数	計画値			12	8	
		実績値			8		
		達成度	%		66.7%		
成果指標	① 出品予定頭数	計画値			3	3	
		実績値			0		
		達成度	%		0.0%		
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	2,945	451	1,014	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源			2,945	451	1,014			
② 人件費(千円)	0	0	1,411	1,101	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)			0.20	0.15	事業概要 のとおり			
時間外勤務(時間)				5				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	4,356	1,552				

\*財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年10月、市内全肥育農家が参加し、大阪での大村市枝肉共励会を兼ねて、和牛の現状と方向性について研修会を行い、肥育技術の研鑽に努めている。 平成28年3月、県内15名の肥育農家が選出され、60頭(うち大村市の畜産農家2戸8頭)の出品候補牛が配布され、関係機関による定期巡回により飼養管理の向上が図られている。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	飼養期間中の事故・病気に注意し、順調に肥育していく。 霜降りマスターと呼ばれる機械を駆使し、サシの入り具合を調査・研究していく。

<b>妥当性</b>	<b>【必要性】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	肥育素牛の頭数減に伴う価格高騰に伴い、枝肉相場は例年より上昇傾向にあるが、飼料価格の高止まりや肥育素牛の急激な高騰等による生産コスト上昇により、肥育農家の経営を圧迫している。このため、生産意欲を高め、肥育技術の改良及び高品質肉用牛の安定生産により収益の確保を目指す事業の必要性は高い。						
	<b>【市の関与】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
出品候補牛の飼育を通じ、関係機関と一体となって飼養管理に努めることで、肥育技術の向上と高品質肉用牛の安定供給に繋がれば、肥育農家の生産意欲が高まる。また、大村産長崎和牛の生産基盤を築くことができれば、主要農産物としての知名度も上がり、市の発展にも繋がる。							
<b>有効性</b>	<b>【事業成果】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	出品候補牛は、県内で選抜された優良素牛であり、購入費が市場の平均価格を上回っていたが、購入費の助成を行ったことで、目当てとする牛を購入することができた。						
	<b>【施策貢献度】</b>	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
平成29年度に宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会において、長崎和牛の知名度が上がれば、ブランドが定着し、和牛農家の経営安定に繋がる。また、出品候補牛の飼育を通じ、関係機関と一体となって肥育技術の改良に努めることで、更に高品質な大村産長崎和牛を安定的に生産できる体制が確立できるため、本事業の施策貢献度は高い。							
<b>効率性</b>	<b>【コスト】</b>	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	県南家畜市場の子牛平均価格は、517千円(H25.5)、591千円(H26.5)、661千円(H27.5)と、年々上昇傾向にあり、出品候補牛の平均価格は841千円であった。このことから、前回、地元長崎で開催された全国和牛能力共進会において、大村からの出品希望者はいなかったものの、今回、2戸の農家が出品候補牛を肥育し、全国への出品を目指すことは、農家の負担を軽減し、生産意欲を高めたためであり、負担割合は適正であったと考える。						
	<b>【負担割合】</b>	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
終期設定
平成 29 年度をもって事業終了予定

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	全国和牛能力共進会「肉牛の部」の出品を目指すとともに、研修等にも積極的に参加してもらい、大村産長崎和牛の高品質化に取り組む。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	出品候補牛の肥育を通じて飼養技術の向上を目指すとともに、更に高品質な肉牛の生産体制を確立することで、肥育農家の生産意欲を高め、経営の安定化を図る。

<b>1次評価</b>	今後の方向性	担当者意見のとおり		<b>2次評価</b>	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。